

| 地域 | 病 院 名 | H29. 7. 1 | | | | | | R7. 7. 1 | | | | | | 再検証の内容（H29. 7時点からR7までの対応） | 病院側の考え | | | | | 県の考え （再検証の確認結果と求められる医療機能等） | |
|----|-----------|-----------|-------|-----|-----|-----|-----|----------|-------|-----|-----|-----|-----|---------------------------|--------|-----|--------|-----|--|--|--|
| | | 合 計 | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟中 | 合 計 | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟中 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 再編、統合 | 減床 | 転換 | 調整中 | 見直しなし | | |
| 八戸 | 八戸市立市民病院 | 552 | 82 | 470 | | | | 572 | 106 | 446 | 20 | | | 41 | | | | | ○ | 病 床：高度急性期等を拡充 医療機能：引き続き、地域の中核病院として高度急性期及び急性期の領域を中心に担う | ・再検証として、「見直しなし」は妥当 ・地域の中核病院としての役割を引き続き担う |
| | 八戸赤十字病院 | 374 | 8 | 366 | | | | 374 | 12 | 362 | | | | 42 | | | | | ○ | 病 床：規模維持、高度急性期を拡充（地域において、高度急性期医療の不足が見込まれることから増床を予定） 医療機能：引き続き、急性期の領域を中心に担う 地域内の総合病院間での機能分化、連携、棲み分けについて調整 | ・再検証として、「見直しなし」は妥当 ・病床規模の見直し及び回復期・慢性期機能への転換や、在宅医療について検討 |
| | 青森労災病院 | 468 | 6 | 197 | 47 | 50 | 168 | 350 | 6 | 247 | 47 | 50 | | 2 | | | 休▲50→急 | ○ | 病 床：急性期を５０増床（医師確保次第速やかに） R3. 7時点で休棟している慢性期の病床５０床について再稼働を予定 医療機能：がん、心疾患、脳卒中、救急、災害、へき地の領域について、引き続き担う。 小児の領域については、医療連携を推進。 令和２年度にがん診療センターを開設。 高精度放射線治療を実施し、多職種によるチーム診療を行うとともに、臨床遺伝外来を開設して遺伝子検査を行うほか、理学療法士や公認心理士などの専門職が連携して心身両面のサポートを行っている。 休棟中の145床については49床を廃止し、９６床については不足している心疾患、脳卒中の領域を担う医師を確保した上で再開することとし、すべての診療科を網羅したコンパクトな急性期ケアミックス病院を目指す。 | ・再検証の内容について、調整会議での判断が必要 ・R２病床機能報告とR７必要病床数を比較すると、急性期が、圏域全体で７１５床必要病床数を上回る状況にある中で、貴院の再検証の内容に沿った場合、その差が７６５床と大きくなる。 再検証の内容を見直し、７１５床ベースで引き続き調整を進めるのか、この再検証を認め、７６５床ベースで調整を進めるのか、調整会議で判断してもらう必要がある。 県としては、例えば、休棟中の５０床を圏域で不足している回復期機能の病床に転換する等について、検討されたい。 | |
| | 三戸中央病院 | 142 | | 49 | 47 | | 46 | 96 | | 49 | 39 | | 8 | 8 | | 回▲8 | | | 病 床：減床（今後） 医療機能：救急の領域について、医療連携によって維持 | ・再検証として、「減床」は妥当 ・更なる病床規模及び機能の見直しや、救急医療、へき地等地域医療、在宅医療等について検討 | |
| | おいらせ病院 | 78 | | 78 | | | | 70 | | 70 | | | | | | 急▲8 | | | 病 床：減床（今後） 医療機能：救急の領域について、医療連携によって維持 小児については、地域の実情を考慮し、拡充を図る | ・再検証として、「減床」は妥当 ・更なる病床規模の見直し及び回復期・慢性期機能への転換や、在宅医療等について検討 | |
| | 南部町医療センター | 66 | | 26 | | 40 | | 66 | | 26 | | 40 | | 2 | | | | ○ | 病 床：現状維持 医療機能：救急、小児、研修・派遣の領域について、引き続き担う がん、心疾患、脳卒中の領域を縮小 | ・南部町医療センターは、調整中のため、今回の協議対象外となります。 ・再検証について調整中 ・病床規模の見直し及び回復期・慢性期機能への転換や、在宅医療等について検討 | |
| | 五戸総合病院 | 167 | | 167 | | | | 165 | | 165 | | | | | | 急▲2 | | | 病 床：減床 医療機能：がん、心疾患、救急の領域も引き続き担う 脳卒中、小児、周産期の領域については、縮小の可能性有 | ・再検証として、「減床」は妥当 ・更なる病床規模の見直し及び回復期・慢性期機能への転換や、在宅医療等について検討 | |

注 黒字は実施済み又は実施中、赤字は今後実施
 参考）高度急性期機能及び急性期機能の病床を有する民間病院
 ｽﾍﾞｲｶﾙｺｰﾄ八戸西病院（199床）、室岡整形外科記念病院（50床）、八戸城北病院（106床）、八戸平和病院（121床）、南部病院（60床）